

学 科	鍼灸マッサージ科	学 年	3年生	期 別	通年	科目の実務経歴	無
授業科目名	リハビリテーション医学			担当教員	杉山 慶介		
授業の方法	講義、演習			単位数	2単位		
学修内容	理学療法に関する基本的な知識と技術を習得させ、理学療法の本質と社会的な意義を理解するとともに、チーム医療の重要性を理解し、リハビリテーションに寄与する能力と態度を習得する。						
授業の到達目標	II. 医学的知識 6. リハビリテーションについて理解する。						
授業計画	前 期			後 期			
	回	テーマ		回	テーマ		
	1	第1章 リハビリテーション総説 A. リハビリテーションと障害		1	第2章 各疾患のリハビリテーション C. 切断のリハビリテーション		
	2	第1章 リハビリテーション総説 B. リハビリテーション医学と医療		2	第2章 各疾患のリハビリテーション C. 切断のリハビリテーション		
	3	第1章 リハビリテーション総説 C. 障害の評価		3	第2章 各疾患のリハビリテーション D. 小児のリハビリテーション		
	4	第1章 リハビリテーション総説 C. 障害の評価		4	第2章 各疾患のリハビリテーション D. 小児のリハビリテーション		
	5	第1章 リハビリテーション総説 D. 医学的リハビリテーション		5	第2章 各疾患のリハビリテーション E. 骨関節疾患のリハビリテーション		
	6	第1章 リハビリテーション総説 D. 医学的リハビリテーション		6	第2章 各疾患のリハビリテーション E. 骨関節疾患のリハビリテーション		
	7	第1章 リハビリテーション総説 D. 医学的リハビリテーション		7	第2章 各疾患のリハビリテーション F. 関節リウマチのリハビリテーション		
	8	第2章 各疾患のリハビリテーション A. 脳卒中のリハビリテーション 1,2		8	第2章 各疾患のリハビリテーション G. 末梢神経障害のリハビリテーション		
	9	第2章 各疾患のリハビリテーション A. 脳卒中のリハビリテーション 3,4		9	第2章 各疾患のリハビリテーション G. 末梢神経障害のリハビリテーション		
	10	第2章 各疾患のリハビリテーション A. 脳卒中のリハビリテーション 5,6		10	第2章 各疾患のリハビリテーション H. パーキンソン病のリハビリテーション		
	11	第2章 各疾患のリハビリテーション A. 脳卒中のリハビリテーション 7,8		11	第2章 各疾患のリハビリテーション H. パーキンソン病のリハビリテーション		
	12	第2章 各疾患のリハビリテーション B. 脊髄損傷のリハビリテーション 1		12	第2章 各疾患のリハビリテーション I. 呼吸器疾患のリハビリテーション		
	13	第2章 各疾患のリハビリテーション B. 脊髄損傷のリハビリテーション 2		13	第2章 各疾患のリハビリテーション I. 呼吸器疾患のリハビリテーション		
	14	第2章 各疾患のリハビリテーション B. 脊髄損傷のリハビリテーション 3,4		14	第2章 各疾患のリハビリテーション J. 心疾患のリハビリテーション		
15	第2章 各疾患のリハビリテーション B. 脊髄損傷のリハビリテーション 5,6		15	第2章 各疾患のリハビリテーション J. 心疾患のリハビリテーション			
評価基準	評価：90-100点(A評価)、80-89点(B評価)、70-79点(C評価)、60-69点(D評価)、59点以下(F・不可)						
評価方法	単元テスト50%、期末試験50%で総合的に評価します。			実務経験	教員歴5年		
履修上の注意	授業で扱う疾患について、復習してください。			授業時間外の学習	予習・復習を適宜行うこと。		
使用教材	『リハビリテーション医学』東洋療法学校協会編 配布プリント			連絡先	質問や相談があるときは職員室を訪ねてください。		